

## 兄島における外来種グリーンアノールの確認と対策実施状況に関する IUCN 等への情報提供について

### 1. 経緯

平成 25 年 6 月下旬、カンボジアで開催された世界遺産委員会の機会に、IUCN 及びユネスコ世界遺産センターの担当者に対して、兄島における外来種グリーンアノールの確認と対策実施状況について情報提供を行った。

### 2. 説明概要

- ・ 小笠原諸島の中でも特に生態系が健全に残されている地域の 1 つである兄島において、外来種グリーンアノールが、本年 3 月に初めて確認された。
- ・ 小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員会は、今回の事態を重大に受け止め、他の事業に優先して早急に対策を講ずるよう促す非常事態宣言を採択。
- ・ 管理機関（環境省、林野庁、東京都、小笠原村）は、科学的見地から検討・助言を行う機関として、小笠原諸島世界自然遺産地域科学委員会の専門家等からなる兄島グリーンアノール緊急対策WGを同科学委員会のもとに設置。
- ・ WGの助言を得て、小笠原諸島の世界自然遺産としての顕著で普遍的な価値を守るため、兄島本来の自然生態系を維持保全し、最終的には兄島からグリーンアノールを完全に排除すること及び再侵入を防ぐことを目的として、必要な対策及びその方法を定めた「兄島におけるグリーンアノール防除計画」を策定。
- ・ 同計画に基づき、WGの助言と地域関係者の協力を得ながら、兄島におけるグリーンアノール対策を実施中。
- ・ 具体的対策としては、トラップの集中設置等による緊急捕獲及び分布状況調査を、グリーンアノールの確認直後から開始。拡散防止のための構造物の早期設置について計画中。
- ・ 今後、上記対策の効果及び影響のモニタリング等も行いながら、順応的に対策を講じていく考え。